

【表紙】

市内各所から 春の便り

(3月27日 高田町浄土寺の河津桜)

【主な内容】

P 2 特集 START ー令和2年度ー

・施政方針 ・教育行政方針

・市職員人事異動 ・令和2年度予算

P 12 市役所からのHOTLINE

次世代につなげる 持続可能なまちづくりを推進

令和2年市議会第1回定例会（3月定例会）は、2月19日から3月12日まで開かれ、初日に戸羽太市長が施政方針演説を述べました。「全ての陸前高田市民一人ひとりがワクワクするような気持ちで共有できる、誰もが活躍する場所を持てる、そんな一年になるように努力をまいります」と決意表明しました。ここでは、その内容の一部を抜粋して紹介します。（施政方針演説の全文は市ホームページに掲載しています。）



基本施策

①SDGsの達成に向けた取り組みを推進

SDGsの達成に向け、市民の皆さまへ周知を図るとともに、市内外の企業や団体などとの連携を強化し、課題解決から幅広い活動の推進につなげることを目的とした「SDGs推進プラットフォーム」や、地域資源を活用した再生可能エネルギーの利活用促進、循環型社会の構築に向けた取り組みなどをより一層推進しながら、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指して、経済・社会・

②賑わいの創出と交流人口や関係人口の拡大

震災を契機として、友好協定を締結した名古屋市や米国クレセントシティ市、シンガポール共和国などとの交流で生まれた、産業・教育・行政などの分野でのつながりの深化や発展を支援し、効果的な交流・連携を進めてまいります。高田松原津波復興祈念公園や東日本大震災津波伝承館などの震災関連施設の積極的な活用と併せ、市全域を防災・減災を学べるフィールドとすることにより、国内外からの



③農林水産業および商工業の振興と、働く場の創出に取り組み、さらなる移住・定住を促進

交流人口の拡大につなげるとともに、新たに整備する野球場・サッカー場を活用し、プロスポーツを含む各種スポーツ大会、パラスポーツおよびeスポーツなどの誘致により、さらなる交流人口の拡大を図ってまいります。

▼農林の振興 市域関係者や地域おこし協力隊のアイデアを積極的に取り入れ、森林資源の活用を研究し、長期的な森づくりと持続可能な地域林業の振興を図ってまいります。

▼水産業の推進 陸上養殖の推進や、水産加工業者の連携強化とともに、民間企業が進める水産関連産業への新規参入を促進し、安定的な漁獲高の確保に向けた取り組みを推進してまいります。

▼商工業の振興 商工会と連携を図り、事業者に対する各種支援策の継続および6次ブランド化の推進のほか、市内での創業を支援する取り組みを推進してまいります。

▼地域内の産業振興 域外調達への依存度が高い「モノ・サービス」や、外貨獲得力の高い事業分野を特定することで、地場産品の付加価値を高める商品の開発・流通促進を図る仕組みづくりを推進してまいります。

まちづくり総合計画に掲げる8つの基本目標における主要施策

①復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり

震災復興計画を継承し、継続して東日本大震災からの復興に取り組み、二度と人命や財産が失われることのないよう、円滑な避難行動を確保する道路網の整備などを行うとともに、防災体制の強化を図るなど、「防災」と「減災」を組み合わせた多重防災型の災害に強い安全なまちづくりを進めてまいります。

②快適に気持ちよく暮らすまちづくり

市民や来訪者の皆さまが安全に、そして安心して通行ができるよう道路の整備を進めてまいります。

▼市道 玉山線などの改良事業について早期完了を目指して工事の進捗を図るほか、下矢作地区の避難場所である矢作小学校への避難路を整備するとともに、小友小学校からの避難場所となっている小友地区コミュニティセンターまでの避難路の整備を引き続き進めてまいります。

▼河川 市道狩集久連坪線の歩道整備と併せて、横田水路の改修事業を進めるほか、二

③安全・安心で環境にやさしいまちづくり

防災行政無線の新設やスピーカーの増設を引き続き実施し、放送の聞こえない地域の解消に努めるとともに、避難の際に情報収集が行えるよう指定避難所へのテレビアンテナ工事を実施してまいります。

④子どもたちを健やかに育むまちづくり

特色のある保育の実現のため、気仙保育所の一部を病後児保育事業に転用し、保育ニーズへの対応を図るとともに、保育士確保事業として、



▼地域防災力の向上 自主防災組織の組織化を推進するとともに、体制の強化を図り、その活動が充実するよう各種支援を行ってまいります。

▼災害への備えの充実 指定避難所に食料や飲料水などの生活必需品を計画的に備蓄し、市民の皆さまには、各家庭や地域で備蓄していただくよう啓発に努めてまいります。

▼土砂災害・洪水対策の推進 ハザードマップを作成し、各家庭に配布することにより、危険箇所などを周知してまいります。

保育従事者の養成を目的とした「子育て支援員研修」を継続し、3歳未満児の入所希望の増加に対応するため、人材確保に努めてまいります。

▼子育て費用の負担軽減 国の幼児教育保育の無償化の実施とともに、3歳児以上の保育所（園）の副食費の無償化や、ふるさと納税を活用した「子育て応援事業」を継続し、保護者の負担軽減に努めてまいります。

▼放課後の児童の居場所の創出 放課後児童の安全安心な居場所の提供に努めるとともに、たけこま放課後クラブの施設整備による、生活環境の向上を図り、児童の健全育成を支援してまいります。

▼子どもの貧困対策 「子ども食堂」など子どもの居場所づくり事業への支援を行い、孤立を防ぎ子どもの健全育成を支援してまいります。

⑤ともに支え、健康に暮らすまちづくり

「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくりを進めるため、公共施設などの整備に際してはユニバーサルデザインに配慮するとともに、個人店舗などに対しては、ユニバーサルデザインのお店認証制度の活用により、「みんなにやさしいまちづくり・みせづくり」を推進してまいります。

▼すべての人がスポーツに親しむ環境の整備 スポーツを通した共生のまちづくりの実現のため、障がい者スポーツを含めた各種大会やスポーツ教室を開催し、障がいの有無や年齢にかかわらずスポーツを楽しむ、市民相互が交流できる機会の提供に努めてまいります。

▼共生のまちづくりの推進 移動困難者の社会参加や、通院などを支援することにより、生活の向上を図るため、引き続き実施するタクシール料金の一部助成を、より充実させてまいります。

▼市民の健康づくり 介護予防、心の健康などを通じ、地

域づくりの取り組みである「はまっつけらいん、かだっつけらいん運動」を推進してまいります。また、市民が参加できるスポーツイベントなどを開催するとともに、ニュースポーツ、eスポーツなどに取り組むことができる機会を提供してまいります。



⑥市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり

地域住民が地域課題の解決に自ら積極的に取り組み、持続性の高い活力ある地域コミュニティの形成を進めるため、「地域交付金制度」を継続し、協働によるまちづくりの推進を図ってまいります。

▼友好都市との交流や都市間交流の促進 名古屋市やクレセントシティ市をはじめ、本市を支援していただいている個別自治体や、川崎フロン

ターレ、東北楽天ゴールデンイーグルスとのさまざまな交流やイベント開催支援を行い、交流人口、関係人口の拡大を図ってまいります。

▼移住・定住の促進 空き家バンクと、移住相談者を対象としたワンストップ窓口の充実を図るとともに、移住後の地域コミュニティに円滑に溶け込める環境づくりや、生活相談会、仕事の紹介、各種支援制度の活用を促進させ、移住が定住につながる総合的な取り組みを推進してまいります。

⑦活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり

▼農業の振興 本市の振興作物であるトマト、イチゴ、きゅうりのほか、米崎りんごや北限のゆずなどの生産を推進するとともに、担い手の育成と6次産業化、高付加価値化に努めてまいります。「たかたのゆめ」の品質の向上や収量アップに向け栽培技術の共有を図り、地域ブランド米としての地位確立に努めてまいります。

▼ピーカンナッツプロジェクト 東京大学および株式会社

教育行政方針

子どもたちの「生きる力」の育成

②一人ひとりを大切にした学校教育の推進

「心のケア」、「配慮を要する子どもへの支援」、「学校不適応児対応」および「いじめ防止対策」の推進を図っていきたくと考えております。

③学校、家庭、地域が一体となった教育の推進

「家庭教育の充実」、「地域全体で子どもを育てる環境づくり」、「健全育成活動」および「学校・家庭・地域の連携」の推進を図っていきたくと考えております。

④人生を豊かにする生涯学習の推進

「生涯学習の推進」、「学習活動への支援」、「学習の成果を生かす環境づくり」および「学びの場の整備・充実」を図っていきたくと考えております。

⑤多様で個性ある文化の創造

「自然・歴史・文化資源の保護と継承」、「文化財の保存と活用」および「文化活動を育てる環境の整備」に取り組んでまいります。

⑥生涯スポーツの推進

学校体育施設の貸し出しによる活動場所の提供など、市民の生涯スポーツについて推進してまいりたいと考えております。



サロンドロワイヤルと締結した連携協定に基づき、共同研究を進めてまいります。

▼林業の振興 気仙スギをはじめとする良質な用材の生産や、地域木材利用の住宅および店舗の新築と増改築に対する支援を行うとともに、木質バイオマスなどの利活用を検討しながら、地域木材の有効利用を促進してまいります。

▼漁港の整備 漁業者の利便性と作業の効率性の向上のための基盤整備や漁港および海岸施設の長期利用を見据えた機能保全計画の策定を引き続き進めるとともに、未復旧となっている防潮堤に付帯する漁港施設について、防潮堤工事の進捗に合わせ、順次復旧工事を進めてまいります。

▼水産業の振興 資源管理型漁業の推進や道の駅高田松原への水産プールの展開と併せ、新たな産業形態として、自然環境の影響を受けにくい陸上養殖により、安定的な漁獲高の確保に向けた取り組みを推進してまいります。

▼商工業の振興 市商工会と連携を図りながら、グループ補助金や中小企業被災資産復旧事業費補助金などの活用

より、残された被災事業所や商店の再建に向けて支援してまいります。

▼観光の整備 震災の記憶と教訓を伝える防災学習を中心とした教育旅行や企業研修、民泊体験事業に取り組むとともに、外国人を含めた旅行者の受入態勢強化を進めてまいります。

⑧市民にわかりやすく健全な行政運営

質の高い行政サービスの提供につきましては、震災からの復興の総仕上げを目指し、活力と活気にあふれる「持続可能なまち、共生のまち」を実現するため、職員一人ひとりが経営感覚や市民目線を持ち、市民との協働により、多様化する行政ニーズに積極的に取り組んでまいります。

復興期間後の行政運営を見据え、業務の効率化を図り、適切な人員管理に努めるとともに、行政サービスの水準を維持しながら人件費の縮減を図る「行政事務包括業務委託」の規模を拡充するなど、今後においても、効率的で質の高い行政サービスの提供に努めてまいります。

舟波昭一氏が副市長に就任

舟波昭一(36)

【略歴】	
平成21年	北海道大学大学院修了
同年	国土交通技官採用
平成26年	東北地方整備局山形河川国道事務所調査第二課長
平成29年	東北地方整備局道路部道路計画第一課長



岡本雅之氏が副市長を退任

岡本雅之氏が3月31日で副市長を退任しました。

岡本氏は29年4月に副市長に就任。復旧復興事業の完遂と新たなまちづくりに向けた公共施設建設やホテル建設誘致などに尽力しました。

3月30日に行われた退任式で岡本氏は「陸前高田市にこれからはもずっと『思民』としてかわり続けていきたい」とあいさつで思いを語りました。



職員らに拍手で送られる岡本雅之前副市長

2号棟2階		
教育委員会管理課 教育次長兼課長 細谷 勇次 課長補佐兼管理係長 小野寺 一典 管理係 副主幹 加藤 伸一（県から派遣） 主査 佐々木 英治 主任 井上 保人（県から派遣） 主事 前角地 邦幸 主事 吉田 ゆう子 主事 吉田 都 文化財係 副主幹兼係長 熊谷 賢 副主幹 佐々木 敦美 学芸員 増崎 勝仁（任期付） 学芸員 曳地 隆元 主事 菊池 大暉（県から派遣）	学校教育課 課長 千葉 賢一 （県教育委員会から派遣） 課長補佐 鈴木 貴子 主任 戸羽 謙一 主事 小林 広範（県から派遣） ＜教育研究所＞ 所長 千葉 賢一（兼） 指導主事 阿部 勲寿 指導主事 豊巻 幸樹 指導主事 佐藤 広一	まちづくり推進課 市民協働部長兼課長 佐藤 由也 課長補佐兼生活環境係長 佐藤 勝也 生活環境係 主任 小野 勝彦 主事 佐藤 麻衣 主事 熊谷 春花 コミュニティ係 係長 佐々木 真理 主任主事 吉田 愛美 （我孫子市から派遣） 主事 蒲生 夏生 主事 森 遼祐（平泉町から派遣） 主事 北島 郁恵

図書館 館長 細谷 勇次（兼） 主事 本多 暁子（任期付） 主事 松野 美樹（任期付）	小中学校用務員 高田小学校主任用務員 村上 達也 気仙小学校主任用務員 村上 英也 広田小学校主任用務員 千田 あけみ 小友小学校主任用務員 佐藤 浩之 米崎小学校主任用務員 小林 邦明 矢作小学校主任用務員 木川田 隆俊	竹駒小学校主任用務員 村上 淳一 横田小学校主任用務員 佐々木 亮輔 高田第一中学校主任用務員 菊池 静 高田第一中学校主任用務員 及川 克政 高田東中学校主任用務員 細田 覚
博物館 主任学芸員 熊谷 賢（兼） 学芸員 浅川 崇典		

2号棟1階		
子ども未来課 福祉部長 齋藤 晴美 （厚生労働省から派遣） 課長 千葉 達 課長補佐兼子育て支援係長 岡渕 貴悦 子育て支援係 主任栄養士 畠山 夕子 主事 谷本 陽修 （一関市から派遣） 主事 佐々木 真由 【新採用（任期付）】 子ども家庭係 係長 千葉 祐子 主事 上部 裕子（任期付） 主事 山下 彩香 委託社員 村上 香奈	保健福祉課 福祉部次長兼課長 千葉 恭一 課長補佐兼国保介護係長 臼井 秀子 課長補佐兼社会福祉士 馬場 勝基 保健係 係長 阿磨 宏 主事 鈴木 礼子（任期付） 主事 大和田 沙織 主任保健師 蒲生 恵美 保健師 蓑島 さやか（任期付） 保健師 遠藤 綾子 保健師 村上 有紗 栄養士 永山 智絵 保健師 水野 愛実 保健師 小澤 沙希 保健師 西谷 瑠奈 【新採用（任期付）】	国保介護係 主査 野田 瑞樹（大和市から派遣） 主査 高橋 吉一（花巻市から派遣） 主事 柴田 一枝（任期付） 主事 菊田 育子（任期付） 主事 佐藤 綾 主事 菅野 絢子 主事 吉田 悠 主事 高橋 拓也 （後期高齢者医療連合派遣） 主事 小田 真美 （気仙広域連合派遣） 福祉係 係長 村上 利恵子 主任 村上 正一 主事 佐々木 孝成（盛岡市から派遣） 主事 小岩 希未（一関市から派遣） 主事 菅野 玲奈（任期付）

気仙保育所 所長 金濱 幹也 主任保育士 熊谷 公子 主任保育士 熊谷 由加 主任保育士 佐々木 めぐみ 主任保育士 松田 純枝 保育士 佐藤 泰子 主任調理員 佐藤 タ子	小友保育所 所長 尾形 良一 主任保育士 菅野 香 主任保育士 村上 雪絵 主任保育士 伊藤 真知子 主任保育士 白山 理奈 保育士 川島 瑞穂 保育士 佐藤 颯太	高田保育所 所長 藤井 貴美 主任保育士 佐々木 宏枝 主任保育士 村上 あゆみ 主任保育士 吉田 和枝 主任保育士 中野 亜紀 主任保育士 菅野 陽子 主任保育士 山田 美加 主任保育士 大友 さおり 主任保育士 菅野 裕美子 主任保育士 熊谷 千春 保育士 佐藤 志帆 主任調理員 村上 由紀
--	--	---

1号棟2階		
総務課 総務部長兼課長 戸羽 良一 課長補佐兼行政係長 及川 晃一郎 行政係 主任 志賀 祐太 （一関市から派遣） 主事 横山 千佐 主事 北島 善太郎 主事 熊谷 和也【新採用】 委託社員 中里 晃 職員係 係長 熊谷 卓 主任 田宮 一樹（兼） 主事 菅野 文博	財政課 課長 黒澤 裕昭 主幹兼課長補佐 菅野 優 課長補佐兼財政係長 佐々木 伸哉 財政係 主任 中村 貴文 （県から派遣） 主事 菅原 由紀也 主事 鎌田 李奈 主事 柏 航平 管財係 係長 遠野 正隆 主事 小松 公輔 主事兼自動車運転手 熊谷 聡（任期付） 主事兼自動車運転手 白江 威晴 【新採用（任期付）】	政策推進室 室長 村上 幸司 室長補佐 吉田 志真 政策広報係 係長 菅野 隼 主任 菅野 大樹 主事 佐山 広太郎 （県から派遣） 秘書係 係長 大和田 奈緒子 主事 田村 結

1号棟1階			
税務課 課長 伊藤 芳光 課長補佐兼市民税係長 菅野 雅彦 市民税係 主査 佐藤 俊之（一関市から派遣） 主事 山上 秀利（県から派遣） 主事 本田 貴寛（住田町から派遣） 主事 米内 駿（滝沢市から派遣） 資産税係 係長 畠山 拓也 主査 玉木 進（神奈川県から派遣） 主査 今西 隆文（松阪市から派遣） 主任主事 金野 暢 主事 岸 和也	会計課 会計管理者兼課長 小笠原 淳 課長補佐 阿部 景子 主査 小川 丈晴 （奥州市から派遣） 主任 中塚 薫子 （武蔵野市から派遣） 委託社員 渡邊 雅宏 収納係 係長 佐藤 彰 副主幹 齋藤 卓 委託社員 滝沢 明日香	市民課 課長 山本 郁夫 主幹兼課長補佐 大和田 浩之 登録係 係長 中川 健司 主事 村上 裕太 主事 佐藤 雄大 （一関市から派遣） 総合窓口係 係長 中川 健司（兼） 委託社員 石川 織枝 照井 美和 佐藤 未来 本多 希望	被災者支援室 室長 山本 郁夫（兼） 室長補佐 大和田 浩之（兼） 主任 寺西 達生 （県から派遣） 主任 熊谷 大輔 （盛岡市から派遣） 主任 中川 健司（兼） 主事 村上 裕太（兼）

二又診療所 ☎ 0192 (58) 2220 所長 鈴木 高 看護師 高橋 恵美子 （任期付） 看護師 藤原 奈美 主事 田村 美結	広田診療所 ☎ 0192 (56) 2515 所長 岩井 直路 看護師 藤井 縁 看護師 鈴木 菜央美 看護師 菅野 三貴 【新採用（任期付）】 主事 畠山 連穂	学校給食センター ☎ 0192 (55) 2073 所長 千葉 賢一（兼） 副主幹 鈴木 貴子（兼） 主任栄養士 佐藤 絵里 主事 細谷 怜史	保健福祉総合センター ☎ 0192 (22) 8671 所長 石木 幹人 包括支援センター 所長 千葉 恭一（兼） 所長補佐 馬場 勝基（兼） 係長 武田 知子 主事 佐藤 隆（任期付） 主事 鈴木 真亀子 【新採用（任期付）】 保健師 蒲生 紋子 保健師 千葉 春香 保健師 高橋 成美
総合交流センター（夢アリーナたかた） ☎ 0192 (22) 8448 スポーツ交流推進室長 村上 知幸（兼） スポーツ交流推進室長補佐 小泉 剛志 兼総合交流センター所長 主任 阿部 正陽（八幡平市から派遣） 主事 菅野 竜児 主事 菅原 一博（盛岡市から派遣）			

新任医師



二又診療所長
鈴木 高(66)

課長級の昇任



会計管理者兼会計課長
小笠原淳(59)

4号棟2階			
市街地整備課 復興局長兼課長 菅野 誠 主幹兼課長補佐 高橋 宏紀 主幹 近藤 真司 (名古屋市から派遣) 課長補佐兼区画整理係長 青山 豊英 区画整理係 (今泉地区) 主 任 澁谷 光男 (県から派遣) 主 任 植田 悌彦 (県から派遣) 主 任 豊山 健太 (茅ヶ崎市から派遣) 主 任 高橋 開 (茅ヶ崎市から派遣) 主任技師 岡安 秋弘 (名古屋市から派遣) 技 師 松井 宏充 (名古屋市から派遣)	区画整理係 (高田地区) 係 長 佐藤 賢 主 査 池田 博行 (神奈川県から派遣) 主 査 齋藤 邦彦 (神奈川県から派遣) 主 査 西浦 光寛 (神奈川県から派遣) 主 査 渡辺 博幸 (名古屋市から派遣) 技 師 飛内 昭人 管理係 副主幹兼係長 泉山 力男 (県から派遣) 主 査 千葉 敏史 (県から派遣) 主 事 佐藤 嘉嗣(任期付) 主 事 菅原 雅江(任期付) 主 事 高橋 絵里(任期付)	復興推進課 課 長 佐々木 学 課長補佐兼管理係長 村上 幸義 管理係 主 査 山岡 憲史 (神奈川県から派遣) 事業推進係 係 長 石川 祐也 主 任 鈴木 貴樹 主 事 赤穂 満 (県から派遣)	農 林 課 課長 中山 雅之 課長補佐 大和田 智広 農政係 係 長 中山 竜一 主 任 菊池 健 (奥州市から派遣) 主任主事 金野 幸浩 主 事 加藤 大志郎 (一関市から派遣) 主任技師 及川 麻美 技 師 千田 顕彦 (任期付) 林政係 副主幹兼林政係長 菅野 光二 主 査 三ヶ森 善智 (神奈川県から派遣) 主 任 阿部 将人 主 事 根木 浩輔 (林野庁から割愛) 主 事 森 菜々子 (任期付) 【出 向】志田 一朗 (林野庁東北森林管理局へ)

4号棟1階			
建 設 課 課長兼幹線道路対策室長 大友 真也 課長補佐兼管理係長兼幹線道路 対策室長補佐 村上 充 課長補佐 伊藤 肇 住宅推進係 係 長 畠山 幸也 技 師 水野 竜一 技 師 松森 太嗣 (県から派遣) 道路河川係 係 長 遠藤 智嗣 主 査 山内 純 (京都市から派遣) 主任技師 奥田 雅和 (名古屋市から派遣) 技 師 鈴木 幸徳 技 師 熊谷 祐輝 技 師 高橋 大貴 (県から派遣) 管理係 主 事 伊藤 正 (任期付)	水道事業所 所長 高橋 良明 所長補佐兼業務係長 大和田 昌利 業務係 主 任 菅原 安彦 (一関市から派遣) 主 任 金野 隆博 主 任 吉田 保永 主 事 佐藤 秀則 (任期付) 工務給水係 係 長 佐々木 賢也 主任技師 安原 重人 (名古屋市から派遣) 主 任 長野 貴治 主 査 東 健二 (神奈川県から派遣) 技 師 田中 圭一 【新採用(任期付)】	観光交流課 課長 村上 知幸 課長補佐兼定住交流係長 村上 聡 定住交流係 主 事 高橋 純基 主 事 鹿野 正雄 (JICAから派遣) 観光係 係 長 熊谷 剛 観光交流主査 千葉 斉昭 (名古屋市から派遣) 主 査 草刈 健太郎 (大和市から派遣) 主 事 渡邊 裕次郎 (名古屋市から派遣) 主 事 田島 亜希子 (京都市から派遣)	商 政 課 地域振興部長 阿部 勝 課長 木全 洋一郎 (JICAから派遣) 課長補佐兼商工係長 菅野 洋 課長補佐兼ブランド推進係長 大林 孝典 ブランド推進係 主 査 丸岡 正則 (鹿角市から派遣) 主 査 浅井 敏克 (栗島浦村から割愛) 主 任 望月 孝 商工係 主 任 中山 雅彦 (奥州市から派遣) 主 任 小澤 巧 主 事 齊藤 正俊(任期付) 主 事 松坂 典子(任期付) 主 事 大杉 直也 (名古屋市から派遣)

【退職者】(3月31日付)		総務部財政課主事(任期付)	
理事	須 賀 佐重喜	福祉部保健福祉課保健師(任期付)	佐々木 雄
理事兼総合政策監	佐 藤 伯 一	高田保育所保育士(任期付)	藤 井 步 美
水道事業所長	熊 谷 完 士	気仙保育所保育士(任期付)	佐々木 恵 里
福祉部子ども未来課副主幹	菅 野 京 子	市民協働部税務課主事(任期付)	村 上 望 美
市民協働部市民課主事	佐 藤 好 信	市民協働部税務課主事(任期付)	鈴 木 広 美
地域振興部農林課主事	佐 藤 好 信	建設部建設課主事(任期付)	大 坂 和 信
教委図書館主任	山 本 摩 耶	建設部建設課主事(任期付)	住 吉 国 男
教委第一中学校主任勤務員	千 葉 徳 次	復興局市街地整備課技師(任期付)	菅 野 傑
	津 田 忠		岩 渕 博 明

3号棟2階			
【色字＝異動者(昇任含む)・新採用】			
議会事務局	局長 熊谷 重昭	局長補佐 山口 透	主任 石川 聖恵 書記 佐藤 直樹

3号棟1階			
都市計画課 建設部長兼課長 堺 伸也 課長補佐兼計画係長 永山 悟 計画係 主 任 佐藤 恵子 主 事 長崎 翔太 (県から派遣) 主 事 出沼 与夢 (県から派遣) 主 事 菊池 真司 (一関市から派遣) 技 師 今野 拓也 技 師 山崎 仁巳 (県から派遣)	下水道係 係 長 新沼 和人 主 査 佐々木 武晴 主 任 小野寺 香 (奥州市から派遣) 主 事 熊谷 麻衣 (復興庁から派遣) 技 師 皆川 繁雄 (復興庁から派遣)	監査委員事務局 事務局長 村上 弘人 主任書記 岩脇 史絵 選挙管理委員会事務局 事務局長 戸羽 良一(兼) 局長補佐 及川 晃一郎(兼) 係 長 田宮 一樹	水 産 課 課長 菅野 泰浩 課長補佐 石川 浩 課長補佐兼水産係長 熊谷 直樹 水産係 主 事 佐藤 広樹 主 事 齋藤 真希 (県から派遣) 漁港係 係 長 小野寺 渉 主 任 佐々木 崇 技 師 高橋 忠彦 (任期付) 技 師 西田 信吉 (県から派遣)

消防防災センター			
消 防 本 部 消防長 戸羽 進 消防次長・消防司令兼消防署長 及川 貴美人 消防司令兼予防係長兼消防署副署長 岡田 雅彦 消防司令補兼通信指令係長 黄川田 英児 消防司令補兼警防係長兼救急救助係長 小松 勲 消防司令補兼管理係長 丹野 賢	消 防 署 管理係 消防司令補兼係長 佐藤 浩樹 消防司令補兼主任 村上 桂一 消防副士長 芳野 亮人 消防副士長 金野 晴樹 消防士 佐藤 宏樹 消防士 新沼 心 警防係 消防司令補兼係長 長尾 英樹 消防司令補兼主任 岡渕 健悟 消防士長 村上 祐二 消防士長 権藤 雄 消防士 臺 和敬 消防士 志田 泰晟 消防士 鈴木 宏斗	予防係 消防司令補兼予防係長 熊谷 欽也 消防司令補兼主任 後藤 道治 消防司令補兼主任 佐藤 浩二 消防士長 金野 剛憲 消防士長 菅野 伸 消防副士長 遠藤 翼 消防副士長 菅野 祥之 消防副士長 荻原 拓也 消防士 吉田 怜央 救急救助係 消防司令補兼救急救助係長兼 通信指令係長 佐々木 秀樹 消防司令補兼主任 戸羽 一将 消防司令補兼主任 伊藤 章尋 消防副士長 菅野 裕樹 通信指令係 消防士長 松坂 亨 消防副士長 新沼 宜徳	防 災 課 防災局長兼消防防災センター 所長 戸羽 進(兼) 課長兼防災対策監 中村 吉雄 課長補佐 吉田 幸喜 副 主 幹 佐々木 清敏 主 事 伊藤 貴洋 (名古屋市から派遣)

会計年度任用職員 ▶税務課…新沼敦 ▶保健福祉課…熊谷理沙、菅野行枝、山田 邦子、伊賀江美子、松野京子、三浦啓子、新沼美奈子、千葉香苗 ▶二又診療所…村上博子 ▶地域包括支援センター…佐藤咲恵、鈴木 早矢香、浦嶋愛美、清水桂子、金野康子、菊池朝子、松本聖実、田中美沙 ▶子ども未来課…前田貴子、大沢田ひろ子、小泉宏美、中山彩、菅原実黄子、鈴木菜、金澤美生、小笠原洋子 ▶商政課…齊藤弘紀 ▶農林課…宮川大輔、菅原剛治、平山直、平山朋花、小清水春樹、石橋裕次郎 ▶博物館…松坂泰盛 ▶学校教育課…吉家秀明、菅野みゆき、村 中聖樹、佐藤健一、佐藤浜子、寺澤泰子、田口那宙、大和田ちづ子、小友英貴 ▶観光交流課…SARAH CHU	▶高田保育所…伊藤真由美、河合敦子、和 泉貴子、村上美優、津田明美、遠野裕子、坂口優子、星さゆり、鈴木和枝、塚田彩佳、村上久美、佐藤安津子、新沼淑江 ▶気仙保育所…佐々木恵里、川端あゆみ、及川恵、菅野有里、佐々木ヘスサ、川上 恵美、畠山ちえみ、新沼薫 ▶小友保育所…及川可奈子、戸羽絵梨、小 松りか、岩崎佳子、伊東美知子、藤井一枝、新沼央子
--	--

陸前高田市まちづくり総合計画

令和2年度予算主要事業内容

「陸前高田市まちづくり総合計画」で掲げる基本目標ごとの主な事業内容についてご紹介します。

目標1 復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり

NEW 今泉北地区における盛土等の 基盤整備	11億2,000万円
NEW タピック 45、旧気仙中学校の 震災遺構化	2億9,178万円
NEW 本丸公園を避難場所として整備	1億2,000万円
NEW 震災追悼施設、慰霊碑等を整備	5,996万円



◀今泉北地区産業連携

目標2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり

市内の公共交通の運行に対する補助等	7,400万円
NEW 旧吉田家住宅主屋の復旧整備	3,080万円

目標4 子どもたちを健やかに育むまちづくり

NEW 竹駒地区児童クラブの施設を整備	2,992万円
NEW 気仙保育所において病後児保育を実施	1,150万円

目標5 とともに支え、健康に暮らすまちづくり

NEW S D G s 普及啓発等への取り組み	3,200万円
店舗等におけるユニバーサルデザイン の整備費用を助成	700万円

目標6 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり

NEW 被災した職業訓練校を再整備	1億548万円
NEW 市内各コミュニティに対する地域 交付金	5,500万円

目標7 活力に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり

NEW 道の駅高田松原の休憩所屋根を整備	6,000万円
NEW 農業用ため池のハザードマップを作成	5,100万円
NEW 市内起業家の育成プログラムを実施	150万円

目標3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

NEW 矢作町の土砂災害・洪水ハザード マップを更新	691万円
再生可能エネルギー設備の設置費用 を助成	500万円



▲津波避難訓練の様子



▲S D G s 普及啓発事業の様子

目標8 市民にわかりやすく健全な行財政運営

NEW わかりやすい市ホームページへの リニューアル	788万円
--------------------------------------	-------



▲昨年度開設した道の駅

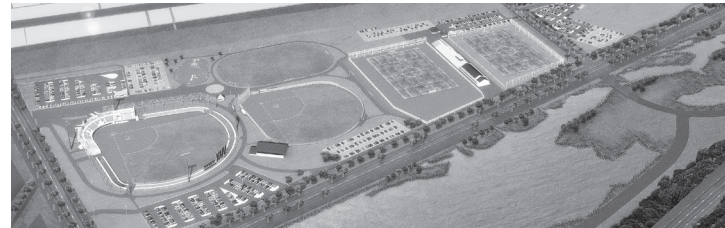
市の財政状況は、市ホームページ (<https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/>) でも公開しています。
『市の概要』>『財政』>『財政状況』

令和2年度 予算

一般会計671億1,400万円 ～復興事業進展で8.3%減～

令和2年度の一般・特別・企業会計の各予算が市議会でも可決されました。一般会計671億1,400万円、特別会計62億737万円、総額733億2,137万円を計上しました。

本年度も、復旧・復興事業を最優先に進めるとともに、昨年3月に策定された「陸前高田市まちづくり総合計画」に基づき、魅力あるまちづくりに向けた各種事業を展開していく予算構成となっています。



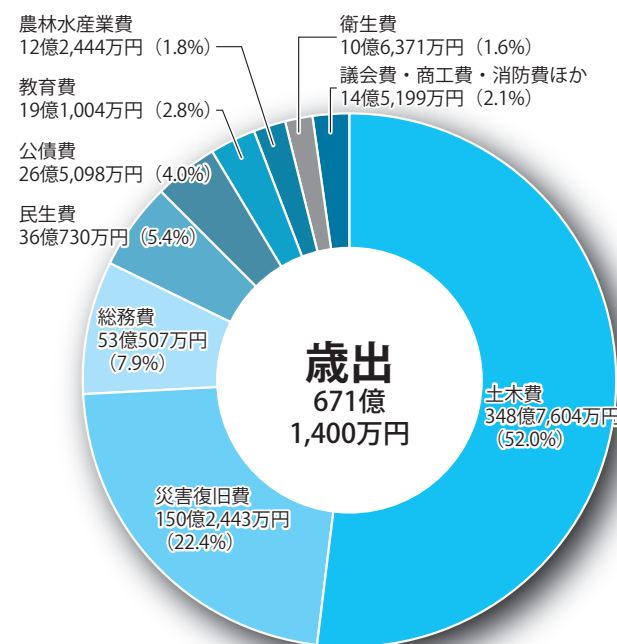
◆問い合わせ先…市役所財政課財政係(内線162)

※文中表内単位金額以下を端数調整

◀今年度開設予定の高田松原運動公園

一般会計

() は構成比です。



特別・企業会計

会 計 名		予 算 額	前年度当初比
特 別 会 計	下 水 道 事 業	6億4,361万円	-3.2%
	農 業 集 落 排 水 事 業	6,628万円	+2.1%
	漁 業 集 落 排 水 事 業	7,746万円	-12.5%
	国民健康保険 事業勘定	22億9,132万円	-7.1%
	診療施設勘定	2億1,142万円	+17.9%
	後期高齢者医療	2億3,711万円	+3.0%
	介護保険 保健事業勘定	26億6,311万円	-2.5%
	介護サービス事業勘定	1,706万円	+64.5%
合 計		62億 737万円	-3.5%
企 業 会 計	水 道 事 業	収 益 的 収 入	6億3,351万円 +0.4%
		収 益 的 支 出	6億2,351万円 -0.2%
		資 本 的 収 入	6億7,283万円 -36.6%
		資 本 的 支 出	7億6,946万円 -33.8%



▲ノーマライゼーションという言葉の
いらないまちづくりを推進します

就職や退職した場合には
国民年金の届け出を忘れずに

◆問い合わせ先…市民課登録係(内線133)

こんなとき	どんな手続き
就職した	職場で、厚生年金加入手続き
退職した	市役所で、国民年金加入手続き (扶養となっていた配偶者も第1号被保険者への変更)
厚生年金加入中の 配偶者の扶養となった	配偶者の職場で、第3号被保険者への変更手続き
配偶者の職場が変わった	新しい職場で、第3号被保険者の手続き
配偶者の扶養から外れた (自身が厚生年金に加入する場合以外)	第3号被保険者から第1号被保険者への変更手続き

※第1号被保険者…自営業者、農林漁業者、学生、フリーター、無職
第3被保険者…厚生年金、共済年金加入者に扶養されている配偶者

国民年金は、日本に住所のあ
る20歳以上60歳未満の人が加入
する制度です。これから就職や
退職、引越など異動の多い
時期となります。
届け出をしないと、将来年金
を受けられなくなることもあり
ますので忘れずに手続きをしま
しょう。

国民年金学生納付
特例制度のお知らせ

国民年金は20歳以上であ
れば、学生も加入する必要があ
ります。学生の人は、本人の
所得が一定額以下の場合、国
民年金保険料の納付が猶予さ
れる「学生納付特例制度」が
あります。制度の利用を希望
する人は、住民票のある市町
村で手続きをしてください。
◆対象：①大学（大学院）②
短期大学③高等学校④高等専
門学校⑤専修学校⑥特別支援
学校⑦各種学校（修業年限が
1年以上である課程）に在籍
する人
◆申請に必要な書類：学生証
（写し可）または在学証明書
（写し不可）
◆学生納付特例の承認期間：
4月から3年3月まで
※承認を受けた翌年度も在学
予定で、引き続き学生納付特
例を希望する人は、4月初め
に送付される再申請の用紙に
必要事項を記入し、提出して
ください。

先生方が視察に

2月の下旬に、県内の大学と新潟県の中学校の先生方が民泊の視察に来ました。ど
ちらも初めての学校で、この視察を通して、今後の生徒の皆さんの民泊に繋がります。
震災学習も交えて、1泊2日生徒たちと同じような形で民泊体験をしていきました。

■新潟大学教育学部附属新潟中学校(教員3人)

◎民泊後の感想

下見を通して私自身が自分自身と向き合い、人々とのつながりの大切さ、人の命の尊さ、そして強
さと優しさを心から学び、実感することができました。生徒たちに体験してほしい学習を企画するに
あたり、教師自身がその価値や意味を見いださなければ、生徒にきちんと伝えることができません。

今回の下見で、陸前高田での旅の価値や意味を見いだすことができ、私たち教師から確固たる思い
をもって、生徒に伝えることができそうです。

民泊においても私たちにとって貴重な経験になりました。この出会いは私たち教員とっても一生の
宝になります。

■岩手保健医療大学看護学部(教員2人)

◎民泊後の感想

2～3キロ口太ってしまうくらいたくさんおいしいものを頂きました。昼間から健康の話で盛り上
がってしまい、夜までお話をしてしまいました。血圧のお話で盛り上がりましたので、今度学生を連
れてくるときは授業で学んだことがどれだけ生かせるか、実際に血圧計を持参させようと思います。

先生方にとっても民泊が大きな経験・思い出になったようです。
たくさんの生徒さん達を連れて来てくださることを心待ちにしています！



◆問い合わせ先：
マルゴト陸前高田 ☎ 0192(22)7410
または市役所観光交流課(内線423)

防災マイスター養成講座を
開講します

◆問い合わせ先…防災局防災課(内線603)

地域の防災リーダーとして活躍できる人材を育成するため、防災の専門家などによる講座を開講します。

- ◆対象者…市内在住、在勤または在学の中学生以上の人
- ◆募集人数…50人(先着順)
- ◆受講料…無料
- ◆日時…5月から12月までの原則毎月第4日曜日、午後1時半～午後4時半
- ◆場所…コミュニティホール
- ◆申し込み方法…市ホームページや市防災課などで配布する「受講申込書」
に、必要事項を記入し、①郵送、②FAX、③電子メー
ルにより申し込み
- ◆申し込み期限…5月20日(水)



昨年の講座(防災施設見学)の様子

【講座カリキュラム】

講座名	内容	講師	開講日
(開講式)	あいさつ、オリエンテーション	市長	第1回 5月24日(日)
①基調講演	地域防災の重要性を考え、共助の重要性 と地区防災計画について学ぶ	東京大学 生産技術研究所 加藤孝明 教授	
②気象に関する基礎知識	気象情報を正しく理解するための知識を 学ぶ	盛岡地方気象台職員	第2回 6月21日(日)
③避難情報	避難情報の内容を正しく理解し、適切な 避難行動について学ぶ	市防災課職員	
④近年の災害	日本各地で発生している過去の自然災害 から被害の特徴について学ぶ	静岡大学 防災総合センター 牛山素行 教授	第3回 7月26日(日)
⑤クロスロード	災害発生時には多様な考えや意見を持つ 人が現れるが、その時どう判断するか、 ゲームを通して考える	市防災課職員 市防災マイスター	
⑥東日本大震災津波伝承館見学	東日本大震災津波伝承館を見学し津波災 害の教訓について学ぶ	東日本大震災津波伝承館解説員	第4回 8月23日(日)
⑦防災施設見学	海岸保全施設である、防潮堤や水門など を見学する	大船渡土木センター 河川港湾課職員	
⑧避難所運営ゲーム(HUG) ※2単位	ゲームを通して、避難所運営方法につ いて学ぶ	市防災マイスター	第5回 9月27日(日)
⑨災害ボランティア	災害時における災害ボランティアのあり 方について学ぶ	岩手大学 地域防災研究センター 福留邦洋 教授	
⑩家庭内での安全と備蓄	家庭内での身の守り方や備蓄方法など について学ぶ	市防災マイスター	第6回 10月25日(日)
⑪救命講習 ※2単位	AEDの使用方法や止血法など、緊急時の 応急処置について学ぶ	市消防署職員	
⑫やさしい日本語	外国人などに正しい情報を伝えられる日 本語の表現について学ぶ	岩手大学 教育推進機構グロー バル教育センター 松岡洋子 教授	
⑬確認テスト	各講座のポイントの再確認を目的とした テストを行う	市防災課職員	第8回 12月20日(日)
(閉講式)	マイスター認定書の授与など	市長	

※これまで養成講座を受講し、防災マイスターに認定された人により、防災講座や防災訓練の支援などを行って
います。地域や職場などにおいて、防災講座などの実施を希望される場合は、上記問い合わせ先までご連絡く
ださい。

陸前高田市地域おこし協力隊

陸前高田市で活動する地域おこし協力隊員は、2月29日現在18名います。今回は、任期を終える隊員5名を前編(3月任期終了・後編(4月任期終了)に渡って紹介します。

◎林業担い手分野↓「ピーカンナッツによる
地方創生プロジェクト」に係る分野

きたむらひろと
北村裕人さん



▲2017年度着任。小規模機械を用いた環境保全型の林業である「自伐型林業」と、陸前高田市を日本初の栽培地としてピーカンナッツの栽培と普及を目指す「ピーカンナッツ事業」に取り組む。

【プロフィール】
10歳まで大阪で過ごし、愛媛県、京都府を経て北海道の大学へ進学。青年海外協力隊としてタンザニアに赴任後、福岡県の大学院に進学。知人の紹介をきっかけに大槌町で林業を開始。2017年に移住。

―地域おこし協力隊になった経緯は？

幼少期に阪神淡路大震災を経験し、「被災地で何か力になりたい」と思っていました。前職でタンザニアの学校教育に携わるなかで「地域に仕事があること」の重要性を感じていたことから、陸前高田市でも地域資源を生かして、産業を起こすことや地元に戻ってきたいと思ったときに仕事がある環境を作りたいと思うようになりました。

―一次産業を選択した理由は？

土地に根付いて長く残るからです。林業もピーカンナッツも、育てればその土地に100年以上残り、次の世代へ残すことができます。そうした産業に関われるのは面白そうだなと思っていました。

―任期中はどのような活動をしていましたか？

1年目は主に山に入って林道整備をしていました。市からの依頼に合わせて木を伐採したり、台風による倒木の対処などもしています。2年目は林業をメインに、ピーカンナッツ事業にも少しずつ関わらせて頂くようになり、3年目となる今年はピーカンナッツ事業に専念。アメリカでの研修にも参加し、陸前高田市の規模に合わせたピーカンナッツ栽培を学んできました。市民や関係者に向けたレシピコンテストや健康講座、勉強会を企画運営しました。

なりました。移住の決め手は、マルゴト陸前高田の活動に共感したことと、先輩から「移住してみたら」と背中を押してもらったことです。

―任期中はどのような活動をしていましたか？

「陸前高田市の外の人との人を繋げる立場」として、民泊修学旅行を中心にコーディネートをしていました。来る人に合わせてプログラムを作り、市内で民泊や体験の受け入れをお願いし、旅行の行程を作る仕事です。地域のひとと密に関わる活動で、修学旅行では事前に生徒のプロフィールを参考に受け入れ家庭とのマッチングなども行いました。陸前高田市に來なければきっと出会わなかった生徒たちと、地元の人が繋がってお互いに楽しんでいる様子を見ると「あよかったな」と嬉しく思いました。

―今後の目標や取り組みたいことは？

マルゴト陸前高田の理事として、訪れる人と受け入れる側との交流を作っていきます。新たにやってみたいことは、住民と一緒に陸前高田市の地域資源について学ぶ取り組み。地域をまわる中で知った施設やお店と、地域のひととの繋ぎ役になれたらと思います。

■(一社)マルゴト陸前高田

地域の自然、商工業、人的資源を活用した「学び」の産業化や、交流人口の拡大を目指し、教育旅行・企業研修の誘致及びコーディネート、外国人観光客受け入れ環境の整備、地域産品の物販など観光交流に関する事業を行う。



▲修学旅行生を案内する古谷さん

◎移住定住促進分野
やまざきふうが
山崎風雅さん



▲2018年度着任。特定非営利活動法人 高田暮舎(以下高田暮舎)所属。移住定住促進に向けた広報活動や移住相談窓口などを担当。

【プロフィール】
神奈川県横浜市出身。大学在学中に所属していたNPO法人SETの一員として陸前高田市を訪れ、以来定期的に通うようになる。大学を卒業した2018年に移住。

私たち、地域おこし協力隊を卒業します。【前編】

―今後の目標や取り組みたいことは？

引き続き、ピーカンナッツ事業に携わります。活動の先に目指すものとして「地域に仕事を作る」ということは変わりません。任期中に参加していた消防団や七夕祭りの地域活動も続けながら、目標に向かっていきたいと思っています。

■ピーカンナッツ事業について

株式会社サロンドロワイヤルと陸前高田市、東京大学(生産技術研究所および大学院農学生命科学研究科)の3者(産官学)が協働して「ピーカンナッツによる我が国の農業再生と地方創生」を題目とした共同研究。我が国におけるピーカンナッツの流通・生産の基盤の構築を研究目的としている。



▲バックホーを使って林道整備をする北村さん

◎交流人口分野

ふるたにけいいち
古谷恵一さん



▲2017年度着任。一般社団法人マルゴト陸前高田所属。民泊修学旅行や企業研修の受け入れをはじめとした観光交流事業に取り組む。

【プロフィール】
神奈川県横浜市出身。学生時代に所属していたアカペラグループの一員として2008年に初めて陸前高田市を訪れる。予備校の職員を務めたのち、2017年に移住。

―移住のきっかけは？

初めて陸前高田市へ訪れたのは2008年、所属していたアカペラサークルの活動のためでした。学校や市民会館などで歌を歌い、喜んでいただいたのが印象的です。その時も陸前高田市とは繋がりが続いていたと思っていましたが、東日本大震災が起き、数年ぶりに陸前高田市を訪れた時の街の変わりようにショックを受けました。そんな中「あの時に会ったよね」と覚えてくれている人がいて、一人ひとりと縁を大事にする暖かさや自然の豊かさなど、震災を経ても「変わらないもの」をもっと知りたいし広めたいと思うように

―移住のきっかけは？

まちづくりや教育に関わる企画・運営を行う特定非営利活動法人SETの活動をきっかけに陸前高田市を訪れ、通うようになりました。移住のきっかけは、陸前高田市で出会った人に憧れて「この町の暮らしに入り込みたい」と思ったことと、「まだ知られていない陸前高田市の魅力を世に伝えていきたい」という思いがあったからです。

―任期中はどのような活動をしていましたか？

市の移住定住促進のため、陸前高田市に移住した人を取材して、ポータルサイト「高田暮らし」やSNSで紹介しました。また「仕事を探す」というサービスを立ち上げ、移住者向けの採用のサポートも行っていました。

―そのほかの時間はどんなことを？

浜の暮らしに興味があったので、ワカメや牡蠣養殖、カゴ漁などのお手伝いをしました。学生時代に通っただけでは見えてこなかった、1年間の作業の流れや、自然と共に生きる姿を間近で見て学ばせてもらいました。都会育ちで何も知らない私にも「まずやってみる」といって経験させてもらい、本当に感謝しています。

―任期終了後の活動は？

さらに漁業について学びたいという思いから、陸前高田市や気仙沼市で海の仕事に携わる予定です。陸前高田市では、任期中に学んだ取材執筆の技術や人との繋がりを生かして、引き続き情報発信の仕事をしたと思っていますので今後も暖かく見守っていただけると嬉しいです。

■特定非営利活動法人高田暮舎

2017年設立。陸前高田市より移住定住業務の委託を受けて、移住定住ポータルサイトの運営、空き家バンクの運営、移住者向けの相談窓口等の業務を行ない、移住定住の促進に務める。理念は「ポジティブな過疎地を創る」。

◆問い合わせ先：市役所観光交流課定住交流係(内線422)



▲大野海岸にて、移住者の仲間たちと集合写真を撮る山崎さん(左から8番目)



むしばのないうあつまれ！

(2月28日・3歳6カ月児健診で虫歯のなかった子を紹介)



かなはまり あ
金濱璃空 ちゃん
(高田町)



よしだ ひまり ちゃん
吉田ひまり ちゃん
(小友町)



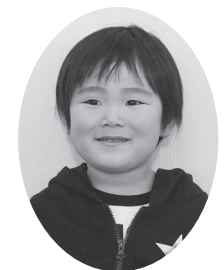
むらかみ まなと
村上心都 くん
(高田町)



かんのきょうこ
菅野恭子 ちゃん
(竹駒町)



よねたここね
米田心希 ちゃん
(高田町)



みのしまゆうと
蓼島侑渡 くん
(小友町)



すずきもものすけ
鈴木桃乃介 くん
(高田町)



うすいたける
臼井健琉 くん
(広田町)



うわべしんご
上部慎祐 くん
(米崎町)



やえがしとうや
八重櫻橙哉 くん
(矢作町)

—東日本大震災追悼式—

御霊の平穏を祈り 復興への誓い新たに



追悼のことばを述べた菅野秀一郎さん



参加者は亡き家族や知人を思い描きながら、献花台に花を供えて冥福を祈りました

平成23年3月11日、午後2時46分に発生し、市に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から9年。

「陸前高田市東日本大震災追悼式」は3月11日、夢アリーナたかたで開かれ、遺族や関係者など約700人が参列し犠牲者の御霊に深い鎮魂の祈りを捧げました。

式では、地震発生時刻の午後2時46分に参列者全員で黙とう。

戸羽太市長は「震災によって底知れぬ深い悲しみや寂しさ、ぶつけようのない悔しさを味わった。この悲劇を繰り返さないよう『いのちを守るまちづくり・災害に強い安全なまち』を掲げました。」と追悼の言葉を述べました。

遺族を代表して菅野秀一郎さん(44)＝高田町＝が「陸前高田で育った一人として、あなた方を失ったことはあまりに大きい。その犠牲を無にしないためにも『人』を育て、『故郷』をつくっていかねばならない。」と追悼の言葉を述べました。

「ちづくり」に市民一丸となって取り組んできた。今後も市内全域を防災・減災を学べるフィールド・命を学ぶ場として、市民の皆さまとともに『いのちを守るまち・災害に強い安全なまち』を目指していく」と式辞を述べました。

令和元年度河川愛護月間「絵手紙」表彰状伝達式

くまがい ね ね 熊谷寧音さん(当時東中3年)が国土交通大臣賞を受賞



表彰状を手に関係者らと受賞を喜び熊谷さん(前列中央)

国土交通省による令和元年度河川愛護月間「絵手紙」コンクールにおいて、最優秀賞となる国土交通大臣賞を受賞した熊谷寧音さんへの表彰状伝達式は2月22日、高田東中で行われました。

伝達式で同省東北地方整備局の北真夫副局長は、東北から初めての受賞に敬意を表し、「『せせらぎに僕も魚も透き通る』という推進標語にふさわしいものだった」と讃えました。

熊谷さんは「たくさんの方に集まっていただし、今までで一番受賞の重みを感じた。標語は意識してなかったが、透明感がそこに偶然重なったので良かった」と喜びを語りました。

文化財ニュース

■国指定史跡 中沢浜貝塚

中沢浜貝塚は、広田半島の先端部にある大森山(標高147.2m)の西側の丘陵上にあり、目の前には広田湾を臨みます。史跡として指定されている面積は約17,000㎡で、そのほとんどが長い年月をかけ、海からの風で運ばれ堆積した砂で覆われています。

明治期から複数回行われた大規模な発掘調査により、この場所が縄文・弥生・平安時代の長期間に渡り人々の生活の場であったことが確認されています。



国指定史跡 中沢浜貝塚

～説明看板をリニューアルしました～

昨年11月の強風の被害を受けて既存の看板が損壊してしまったことから、市教育委員会では、デザインを一新し、これまでより見やすい看板を設置しました。



リニューアルされた説明看板

◆問い合わせ先…市教育委員会管理課文化財係 (内線 256)

Library

図書館情報

☎0192(54)3227

4月のイベント予定

1 本の特集展示

○一般向け：「はじめての本特集」
※新しいことを始めてみよう！新しいことを始めたくなるさまざまな分野の入門書をそろえてみました。

○児童向け：「本のどうぶつえん・本のすいぞくかん」
※動物園や水族館にいる生き物の本を集めてみました。

今月の新着本ピックアップ！

『幕末 志士の作法』

監修：小田部雄次 出版社：株式会社G・B

歴史に名を残した偉人たちとはちょっと違う下級武士がテーマ。武士たちの生きざまを通じて幕末の本質に迫る一冊です。

移動図書館について



※移動図書館は6月から運行予定です。
※日程については後日お知らせします。

令和2年度 遠野地区法律相談のお知らせ

岩手弁護士会による法律相談を行っています。岩手弁護士会の弁護士が無料で相談に応じます。

◆対象地区…遠野市、陸前高田市、住田町

◆場所…遠野市消費生活センター（遠野市新町1番10号）

◆日程…下記日程表のとおり

◆時間…午前10時～午後3時

◆予約・受け付け…遠野市民センター 市民協働課☎0198(62)4411

【日程表】

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
7日(木)	4日(木)	2日(木)	6日(木)	3日(木)	1日(木)	5日(木)	3日(木)	7日(木)	4日(木)	4日(木)
28日(木)	25日(木)	30日(木)	27日(木)	24日(木)	22日(木)	26日(木)	24日(木)	28日(木)	25日(木)	25日(木)

◆問い合わせ先…岩手弁護士会☎019(623)5005

地域包括
支援センター発！

介護お茶のみ話

その65

住民が地域を支える
『暮らしさえ隊』訪問サ
ービス事業の「利用を！」

◆『暮らしさえ隊』訪問サ
ービス利用者募集中！
本市では平成30年10月より、
訪問型サービスB事業（住民主
体・多様な生活支援）として、
『暮らしさえ隊』事業を創設し、
サービス提供を行っています。

◆介護認定結果が非該当の人で
も支援の必要があれば「利用で
きます。」

◎サービスの対象者
市内にお住まいの人で介護保
険認定結果が要支援1、2およ
び事業対象者（生活支援対象と
判断された人）

◎サービス内容
掃除、ゴミ出し、洗濯、調理、
買い物など
※身体介護サービスは対象にな
りません。

◎利用料金…30分300円
詳細につきましては、下記へ
お問い合わせください。

◆認知症カフェの紹介
誰でも認知症のことについて
知る場となり、また認知症の人
やその家族にとっても安心して
会話や相談ができる場所として、
認知症カフェがあります。
市内には3か所のカフェがあ
りますので紹介します。

◎認知症カフェ（認知症にやさ
しい地域支援の会）

・奇数月の第4木曜日
・午後1時半～3時半
・コミュニティホール
・参加費無料

◎アップルカフェ（福祉フォー
ラム東北）

・毎月第1火曜日
・午後1時半～3時
・朝日のアたる家
・参加費200円

◎認知症のつどい（認知症を考
える会）

・毎月第2火曜日
・午後1時半～3時半
・市民文化会館（奇跡の一本
松ホール）
・参加費奇数月200円、偶
数月無料

◆問い合わせ先…地域包括支
援センター（保健福祉総合セン
ター内）☎0192（22）8
671

458

保健
だより

がん検診を受けましょう

がん検診受けていますか？

◆死因第一位は『がん』
がんは、日本人の死因第1位
で「2人に1人が生涯において
一度はがんにかかる」とも言わ
れています。本市においても死
因ではがんが最も多い状況です。
男女別で見ると、男性では、肺
がん、胃がん、大腸がんの順で
亡くなる人が多く、女性では大
腸がん、肺がん、すい臓がんの
順となっています。

◆早期発見・早期治療が重要
「がん」の原因として、喫煙、
飲酒、肥満、ウイルス感染など
が明らかになっています。

しかし、日本人男性の約5割、
日本人女性の約7割については、
原因が明らかになっていません。
そのため、定期的にがん検診を
受診し早期に発見することが大
切です。早期に発見、治療をす
ることで治る確率は飛躍的に上
がり、大切な命を守ることが出
来ます。自分のため、家族のた
めにがん検診を受けましょう！

◆市で行っているがん検診
市では、次のがん検診を実施
しています。

■40歳以上が対象の検診
○胃がん検診：（毎年）胃部X
線撮影
○肺がん検診：（毎年）胸部X線
撮影
○大腸がん検診：（毎年）便潜血
検査

■女性のみ対象の検診
○乳がん検診：（40歳以上・2
年に1回）乳房X線撮影
○子宮頸がん検診（20歳以上・
2年に1回）子宮頸部細胞診

■男性のみ対象の検診
○前立腺がん検診：（50歳以
上・毎年）血清PS検査

◆がん検診の申し込み
市では、4月中に各世帯へ
「各種検診申込書」を送付します。
対象者全員分の申し込みについ
て、所定の欄に記入のうえ、左
記へ返信してください。ぜひこ
の機会にお申し込みください！

◆問い合わせ先…市役所保健福
祉課保健係（内線241）

19 Takata

2020年(令和2年)4月号

Takata 18

※届け出人が希望した人のみ掲載
※氏名は通常字体で掲載

◇おめでた()は保護者・字名

◎男の子

矢作	小林 耕助	(恒男・東角地)
高田	菅原 宏優	(雅之・中和野)
米崎	伊藤 璃音	(大貴・道の上)
広田	蒲生 つなぐ	(夏生・長船崎)

◎女の子

矢作	村上 稀奈	(徳教・神明前)
	佐藤 生奈	(貴洋・清水川)
気仙	小泉 明花	(雄祐・三本松)
米崎	山家 日向子	(光・西風道)
	境井 幸夢	(将樹・脇の沢)
広田	吉田 佑湊花	(素直・中沢)

◇お幸せに()は字名

竹駒	橋本喜則・佐々木直子	(滝の里)
高田	小澤巧・佐藤沙希	(中和野)
広田	高橋拓也・新沼志保	(袖野)
	長野喜信・池田舞	(久保)

◇おくやみ()は年齢・字名

矢作	伊藤 キノエ	(95歳・袖野)
	村上 アサ子	(93歳・金屋敷)

矢作	梅木 明	(76歳・梅木)
	小野寺 昇	(88歳・金屋敷)
横田	松田 はる子	(92歳・舞出)
竹駒	坂下 武夫	(89歳・上壺)
	荷坂 信夫	(92歳・下壺)
	實吉 義正	(77歳・下壺)
高田	松田 コト子	(83歳・鳴石)
	佐々木 崎子	(86歳・中和野)
	千田 タキ子	(85歳・大隅)
	熊谷 ナミ子	(97歳・太田)
	岡田 透	(57歳・法量)
	熊谷 幸男	(79歳・西和野)
	須知 眞吾	(73歳・鳴石)
	及川 カツヲ	(95歳・東和野)
	戸羽 幸子	(78歳・大隅)
	菅野 ミサヲ	(94歳・東和野)
米崎	後藤 幸子	(57歳・川内)
	菅原 亀治	(80歳・松峰)
	及川 尚也	(66歳・西風道)
小友	石川 勝弘	(73歳・中西)
	藤原 モト子	(96歳・中里)
	佐藤 ミヨノ	(102歳・矢の浦)
広田	村上 義藏	(93歳・長根洞)
	津田 利昭	(62歳・大陽)
	村上 秀夫	(87歳・前花貝)
	齊藤 正一	(83歳・中沢)

数字で見る陸前高田市(令和2年2月29日現在)

市内の火災救急活動(2月)
()は1月からの累計

◆建物	0件 (2件)
◆林野など	0件 (1件)
◆出動件数	76件 (162件)
◆搬送人員	73人 (157人)

市の人口(住民登録人口)
()は前月比 出生・死亡数は2月分

男性	9,129人 (－20人)
女性	9,752人 (－9人)
計	18,881人 (－29人)
	(出生11 死亡38)
世帯数	7,618世帯 (－3世帯)

市内の交通事故(2月)
()は1月からの累計

◆人身事故	1件 (4件)
◆物損事故	20件 (38件)
◆負傷者	1人 (4人)
◆死亡者	0人 (0人)
◆飲酒運転	0人 (1人)



(679)

斎 金
藤 野
多美子・挿絵
静一・文責

―キツネに化かされた話―

昔、気仙と江刺の境にある姥峠に、悪いキツネが住んでいた。

ここを通る人は、たいてい化かされて、ひどい目にあっていたが、「俺だけは絶対にだまされねえ」と威張っていた男がいた。

この男は、魚を沿岸の気仙から江刺へ運んで暮らしを立てていたが、姥峠を越えるときは、いつも小魚などを投げ与え、まるでキツネと友達気取りになっていた。

あるとき、この男が例のとおり、魚をいっぱい背負って、姥峠にさしかかると、4・5匹のキツネがこの男の来るのを待っていた。そして口々に皆で言うには、「いつも魚をいっぱいくださって、誠にありがとうござんす。実は本日、私どもの倅に嫁をとることになっているの

で、ほんの真似事ばかりだも、お祝いをしたいと思っております。そこで、あなた様にも出ていただき、日頃のお礼をしようございますので、あの山の陰まで来てもらいたい。」

男はたいへん喜んで、キツネたちに案内されて、山の陰の方さ行つた。少し薄暗い山陰に着いてみると、なるほどそこには嫁ごらしい頭へ赤い布などを付けたキツネを真ん中にして、仲人や御諸親様、それにたくさんのお客さんが座っていたのだ。

男は上座に座らせられ、「ダンナ、ダンナ」と持ち上げられるので、相手がキツネでも悪い気分ではなく、酒をたらふく飲んで、すっかりいい気持ちになった。今度は、「風呂が湧いているから汗流しをなされ」とすすめられる。見ると風

呂場らしい所から煙が立っていた。男がそこへ行つて見ると、女ごキツネが待っていて、「さあ、背中を流してあげます。」って言うんだ。それは有難いと、さっそく湯へ入り、ジャブジャブと湯につかった。

をきれいに流してやつた。男はすっかり良い気分になって、鼻歌を歌っていると、遠くの方で何か怒っている声が聞こえてきた。なんだべと思つて、後ろを振り返つて見ると、背中を流していたはずの女ごキツネの姿が見えなかった。

さて、「これは不思議？」と考えているうちに、どおした訳か、背中がゾクゾクして寒気がしてきた。『これはおかしい、不思議なことだ』と思つた男が、ヒョイと横の方を見ると、なんとあの大きな風呂に入っていたつもりが、隣りの家の苗代の中へ入つて、しきりにそこを這い回っていたんだ。

その苗代は、なんと種を蒔いたばかりだったので、それをメチャクチャに動き回っていたので、立派な田を台無しにしてしまったことになる。

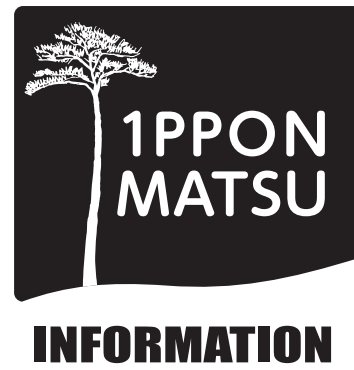
もちろん、気仙から遙々運んできたはずの魚などは、かげも形も無くなって、峠に夜になると出てくるキツネにそっくり盗られてしまった。

「俺さまは、決してキツネなんかには騙されるほど気の抜けた男ではない。」とふんぞり返つて威張っていた男が、最もこっぴどく騙されたという話です。



◆**気仙高齢者大学大学院入学生**
論文作成で学位取得へ
 県立福祉の里センターでは、自主的に学び交流を通じて知識を広げながら、学び研究することを目的に、講義や課外学習などを行う気仙高齢者大学大学院の入学生を募集します。
開催日…5月～翌年3月(月1回)
場所…県立福祉の里センター
対象…気仙管内在住の60歳以上の
受講料…1講義500円
 ※障がい者手帳をお持ちの人は免除
問い合わせ先…県立福祉の里センター ☎0192(27)0294

募集します



ホテル建設に関する覚書締結式

復興・発展のさらなる加速に期待

市と㈱共立メンテナンス(東京都、上田卓味社長)は3月17日、市街地へのホテル建設にあたり、今後さまざまな取り決めをしていくための覚書を締結しました。

上田社長は「震災からの復興に尽力している地域に癒やしの場を提供したい。またたくさんの人に来てもらい、観光の拠点にしていきたい」とあいさつ。

ホテルはユニバーサル対応の客室を含む138室で、2022年1月頃の開業を目指しています。



覚書を締結した戸羽市長と上田社長(左)

2年度も継続して実施します

ふるさとタクシー助成事業

市は、高齢者や重度の身体障がいなどで、移動が困難な人に、タクシー料金の一部を助成します。

◆**助成対象・内容**…右の表のとおり

◆**申請方法**…①本年度以前に申請した人は、自宅にタクシー助成券を郵送②2年度中に75歳となる対象の人には、申請書とタクシー助成券を郵送③免許証の返納などで新たに対象となる人は、5月1日以降に市役所窓口で手続きができます。 ※郵送での受け付けも可能です。

◆**タクシー助成券送付時期**…2年5月(予定)

◆**申し込み・問い合わせ先**…市役所保健福祉課福祉係(内線213)

■ふるさとタクシー助成事業の対象・交付内容

対象者	矢作町(生出、二又、雪沢)、横田町、広田町に住んでいる75歳以上の人で、免許証を持っていない人や免許証返納者	身体(1・2級)療育(A)精神障害者保健福祉(1級)手帳所持者
交付枚数	1月あたり 6枚	
助成額	タクシー助成券1枚につき500円(申請のあった月から当該年度分をまとめて交付、既に申請している人は12カ月分)	

※1回の乗車で使用できる枚数に制限はありません

市内小中学校卒業式

学び舎を巣立ち、新たなステージへ

市内の小中学校の卒業式が3月13日、14日、19日にそれぞれ行われました。

高田小学校(菅野義則校長、児童172人)では3月19日に行われ、保護者や先生に見守られ、卒業証書を受け取った卒業生29人は、新たなステージへの希望を胸に学び舎を巣立ちました。

菅野校長は「みんなのおかげで、高田小学校の新たな一步を力強く踏み出すことができました。あいさつ、掃除、陸上記録会で見せた底力などは、在校生の手本としてしっかりとその心が受け継がれるはず。命を大切にすること、相手を思いやる心を持ち続けること、努力とチャレンジを惜しまないこと。この3つを胸に、将来ふるさとへの力となることを期待します」と式辞を述べました。

卒業生は「今までの6年間、これまでの道のりは決して一人で歩んだものではなく、たくさんの仲間たちに支えられてきました。卒業証書をいただき感謝の気持ちでいっぱいです」と巣立ちの言葉で6年間の感謝を伝えました。

今年の市内小中学校の卒業生は、小学校が8校117人、中学校が2校149人でした。



卒業証書を両親へ渡し6年間の感謝を伝えました

先生や家族に対し巣立ちの言葉を贈る卒業生

定期連載

教えて！SDGs

その③

3 すべての人に健康と福祉を

目標3は、あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進するという目標です。主要な感染症の流行に終止符を打ち、非感染症疾患と環境要因による疾患を減らし、すべての人に安全で全体的な健康の有用な医薬品とワクチンへのアクセスを確保する必要があります。

◎すぐにでも私たちが出来ることは…

- ①ワクチンを届けるための寄付や、募金活動に参加する。
- ②ペットボトルキャップの回収や書き損じハガキを寄付する。
- ③プレゼントには、慈善団体への寄付が出来る商品。
- ④各家庭で余った食品を持ち寄り、それを必要とする人にフードバンクなどを通じて寄付する「フードドライブ」活動に参加する。
- ⑤週末は少し早起きをして、地域のボランティア活動に参加してみる。

ふれあいまつり(昨年9月28日)

〇出生1,000人当たりの死者数

91
43

1990 2015

5歳未満の幼児死亡率は1990年から2015年にかけて半分以上に減少

23 Takata

～食生活改善推進員～ 今月のおすすめレシピ

油揚げの巾着



(1人分)
エネルギー 196kcal 食塩相当量 1.5g

材料(4人分)

油揚げ(大きめ).....2枚
鶏もも肉(または豚ばら肉).....30g
白菜.....200g
人参.....60g
もやし、えのきたけ、糸こんにゃく.....各50g
干しいたけ.....1枚
かんぴょう(干し).....1袋(30g)
なると.....15g
A 〔めんつゆ(3倍濃縮).....大さじ2と2/3(40cc)
砂糖、和風だしの素.....各小さじ2/3(2g)
しいたけの戻し汁+水.....120cc

おもてなし料理におすすめ

なるとを上に乗せることで、見た目が華やかでかわいくなり、お食事会や手土産の手料理などにお勧めです。
また、野菜がたっぷり入っているので、不足しがちな食物繊維をしっかりと摂ることができます。
具がたくさんなので、油揚げは大きめのものを使うのがポイントです。おでんの種にしても美味しいですよ。
◆問い合わせ先…市役所保健福祉課保健係(内線245)

作り方

- ① 干しいたけとかんぴょうは水に戻しておく。
- ② 油揚げは長辺を半分に切り、穴をあけないように開く。
- ③ 白菜と人参はせん切りにする。
- ④ ③ともやしをさっと茹で、ざるにあげて水けを切る。しいたけは薄切りにし、糸こんにゃくとえのきは3センチの長さに切る。鶏肉は1センチの角切りにする。
- ⑤ なるとは5ミリ幅の斜め切りにする。
- ⑥ ④をボウルに入れ混ぜ合わせる。
- ⑦ ⑥を油揚げに詰め、なるとを乗せてかんぴょうで縛る。
- ⑧ 鍋に⑦を並べて入れ、しいたけの戻し汁に水を合わせて120ccとAを加えて煮る。
- ⑨ 味がしみるまで煮て、出来上がった皿に盛りつける。

サラの Thankyou! SINGAPORE

～⑦酔仙祭～

シンガポール出身で市の国際交流員のサラ・チュウさんが、陸前高田で”見て””体験して”感じたことを伝えます。

1月24日にキャピタルホテルで行われた「酔仙祭」に参加しました。

シンガポールには地酒がないので、「酔仙祭」のような地元の銘酒の試飲会がほとんどありません。シンガポールはお酒を飲む習慣があまり無い国なので、日本酒が好きな私はこのようなイベントに参加できて嬉しいです。



さまざまな種類の日本酒を飲み比べることができ良かったです。

「ShuWaWa」は炭酸の日本酒でアルコール度が低く飲みやすいです。「雪しぐれ」は代表

的な「雪っこ」と見た目が似ていますが、少し酸味があります。一番好きな酔仙の日本酒は吟醸酒の「酒匠吟醸」です。あまり甘くもなく酸っぱくもないちょうど良いまろやかな味がして、ぜひ皆さんにおすすめしたい一品です。



2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてシンガポールを応援します！

編集後記

▼春は出会いと別れの季節です。高田小学校の卒業式では、卒業生の希望に満ちた笑顔が印象的でした。コロナウィルスの影響等で、十分な準備ができない中でも完璧に仕上げた卒業生に感動。大変な状況の中、取材させていただきありがとうございました。
▼今月号の表紙は桜。2月の時点で4月号の表紙は桜にしようと決めていました。一輪でも咲いていればと願っていましたが、暖かい日が続いたためか、撮影した3月下旬で、市内の各所で満開に近いものもあり、嬉しい誤算でした。
▼2年近く携わった広報ですが、異動により本号をもちまして最後になりました。この間取材にご協力いただいた皆さま、毎号広報を読んでいたいただいた皆さま、本当にありがとうございました。次の部署でも新たな出会いを楽しみに邁進していきます。
(阿部)



※市内医療機関および金融機関等の事業所で、広報りくぜんたかたを購読希望の場合は左記発行元へご連絡ください。
※広報りくぜんたかた4月号(No.1074)の印刷経費は1部38.8円(税抜き)、発行部数は7,700部です。